

教科名	芸術	科目名	工芸Ⅰ（２年次）【４単位】	
授業形態	講義・実技・鑑賞			
選んでほしい生徒	工芸に興味があり、工芸の知識や技術を身に付け生活に生かしたいと思っている人			
科目の目標	工芸の基礎的な知識と技術を学び、物作りの楽しさを味わいながら、知識や技術、表現力、鑑賞力を高め生活を心豊かにする心情を養う。			
身に付けてほしい学力	<ol style="list-style-type: none"> 生活と工芸との関わりについての知識・理解を深める。 素材の特性を理解し、発想力を高め独創的なアイデアを引き出す力を付ける。 工芸作品の制作過程を理解し、基礎的・基本的な知識・技術を身に付ける。 			
学習計画	単元・教材		学習のあらまし	
	<p>【１学期】 色彩について</p> <ul style="list-style-type: none"> マンセル表色体系 PCCS表色体系 色彩の心理的効果 色彩と生活 <p>【２学期】 土でつくる</p> <ul style="list-style-type: none"> 陶芸の基礎的な知識 基本的な技法による成形 土練りの技術 <p>【３学期】 木でつくる</p> <ul style="list-style-type: none"> 木材工芸の基礎的な知識 箸の制作 スプーンの制作 		<ul style="list-style-type: none"> 色彩についての基礎的な知識を学び、色の表示方法、日常の中にある色彩の効果、配色の意味などを学習する。また、それらの知識を基に実技課題を制作する。 陶芸の基礎的な知識、技術を学ぶ。陶芸の歴史、釉薬や粘土の成分の知識を生かし、実技課題を制作する。 実技内容は、手捻り、板づくりなどの基本技法を学ぶ。 木材工芸の基礎的な知識を学び、日常生活にある工芸品の制作技術を学ぶ。また、道具や木材の知識を生かし実技課題を制作する。 	
評価の観点・評価方法	関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
	<ul style="list-style-type: none"> 工芸の創造活動の喜びを味わい、工芸や工芸の伝統と文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。 	<ul style="list-style-type: none"> 感性や想像力を働かせて、心豊かな発想をし、よさや美しさなどを考え制作の構想を練っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 創造的な工芸の制作をするために必要な技能を身に付け、表現方法を工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> 工芸や工芸の伝統と文化を幅広く理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。
上記の観点を踏まえ、各学期とも評価を行う。				
学習のアドバイス	<ol style="list-style-type: none"> 一つ一つの工程をきちんと身に付けよう。 準備や後片付けをきちんとする習慣を身に付けて安全で作業をしやすい環境を作ろう。 定期考査があります。ノートをきちんととり、しっかりと知識を身に付けよう。 			
教材費	約6,500円（陶土、釉薬、木材 等）			
その他	特になし			